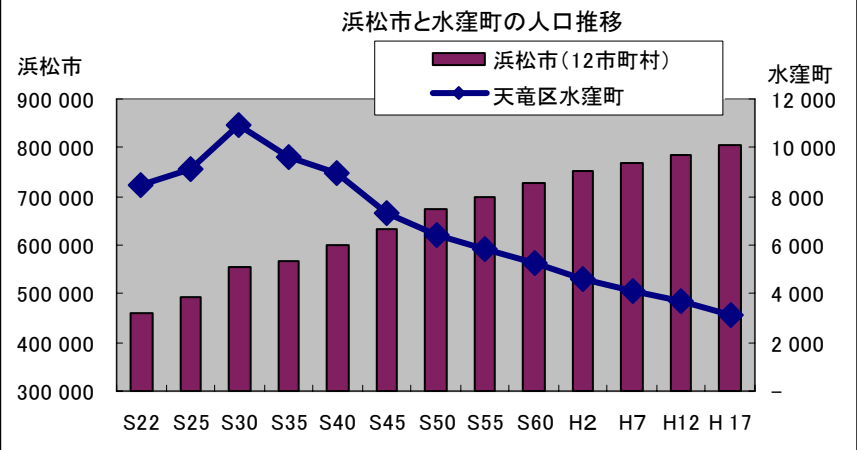


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	1つの浜松、もう1人の担い手『みさくぼ大好き応援団』の仕組みづくり事業
対象地域	静岡県浜松市天竜区水窪町 向島地区・浜松市都市部
対象地域の概要	 浜松市天竜区水窪町 【水窪町及び市有林「ワンワンの森」位置図】   ●イロウ園地 (通称:ワンワンの森) 市有林10ha  【まちづくり団体が管理する市有林】  【市有林で提供する森林体験学習】
提案内容の概要	市民団体が、持続的に市有林を管理し、下流域等への環境啓発や交流拠点として活用していくための自主財源を確保するために、商工会や都市部の事業者や流通の専門家などと協働により、<u>森林資源や地域特産物等を使った新しい商品をつくり販売し持続可能な活動の仕組みの試行</u>を行う。 また、「応援団の仕組み」については、応援団による自然の中で都市部の住民への<u>環境学習のプログラムを構築し、流域連携のエコツーリズムの仕組みをつくる</u>。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	- 水窪町の人口は、S30年を100とするとH17年で78%減（人口流出が著しい）。政令市移行後、公表されている水窪町の単独のデータはなくなっている。みなし過疎地域指定。  浜松市と水窪町の人口推移 浜松市 (12市町村) 水窪町 S22 S25 S30 S35 S40 S45 S50 S55 S60 H2 H7 H12 H17 - 水窪町の高齢化率は46.4%（20年10月1日現在）で、合併後は若者の流出が進み高齢化が進んでいる。したがって、地域の担い手が不足し、将来に対する不安が大きくなっている。 - 平成17年7月、水窪町は浜松市と合併し、平成19年4月の政令市移行により、浜松市天竜区水窪町となった。合併・政令市移行により、水窪町の行政組織は、区役所の下部組織である地域自治センターとなり、行政職員の人員も削減され、地域住民に関われる機会が少なくなってきた。 - 地域の基幹産業である林業は、経営不振や高齢化による担い手が不足し、放棄山林が増えている。静岡県の実施した水土保持林等管理実態調査の結果では、しっかり管理された森林は全体の37%程度で、水源かん養機能の低下など、林業の担い手の不足という中山間地域のコミュニティの問題が下

	流域の住民の暮らしに影響を及ぼそうとしている。そのようなことを知らない都市住民が多く、間伐材利用促進を兼ねて、間伐材を使った「木札」に願い事を託す絵馬によるチャリティ事業を通じて、下流域の住民が森林環境や暮らしの保全対策を流域全体で考え、流域で連携して啓発活動を展開していく必要があると判明した。 ・市有林の維持管理も同様の問題で、「イロウ園地（ワンワンの森）」も行政（町）が森林の維持管理できず、この森を水窪のまちづくりグループが町から無料賃借してボランティアによる管理を担ってきた。最低限の維持管理のコストは、間伐材を切り出したわずかな収益金と町のイベント運営の委託費で賄ってきた。しかし、市からの委託事業の見直しにより、平成21年度より大幅に削減されることになり、森林の維持管理や環境を通じた交流活動も維持できなくなる可能性が生じ、持続可能な活動をするために、下流域の住民の応援を受けながら、安定的に財源を稼ぎ出す仕組みが急務であることがわかった。
(2) 活動内容の案	活動①：間伐材や特産物を利用した商品開発の研究 内容： - 一流通の専門家等を招いて、環境啓発の商品づくりのワークショップ会議を開催する。 - 間伐材や森の特産物を利用した環境啓発の“森の恵み商品”の試作品を作成する。 ※想定する試作品づくりの案として、杉・ヒノキの間伐材を使った「名刺入れ」や「エコバック」、「一輪挿し」、「マイ箸」、「ストラップ」、「太陽光発電の行灯」や特産物を利用した創作料理などを検討。 ※環境啓発の「木札（絵馬）」（20年度の成果、反省）を踏まえ、協力者が自ら使えるものを販売し、その収益金も森林の維持管理に充てる仕組みを試行するものである。 - 一応援団が協力して都市部に向けてエコ商品の開発研究とその商品のテスト販売、展示・PRをする。 - 一また、民間企業のサイトとタイアップして、木札や環境啓発商品（試作品）の通信販売実験を行う。 - 一20年度の「竜水護森・木札の協力店」は、継続及び更なる協力店の開拓を行う。 - 一試作品の販売開拓・研究として、道の駅の物産販売施設等の運営者へのヒアリングを行う。 活動②：応援団の仕組みを活かしたオリジナル環境学習プログラムの構築 内容： - 一H20年度みさくぼ大好き応援団の仕組みを活かして、みさくぼ大好き応援団が水窪町のワンワン塾との協働によりオリジナル環境学習のプログラムをエコツアーの体験商品として活用できるメニューを開発・研究する。 - 一市有林「ワンワンの森」を核として、親子参加型の環境学習講座を開催する（学校や企業とタイアップ）。 - 一ワンワンの森では、20年度の意見・提案を踏まえて、市有林を“里親公園化”していくための試行として、間伐材を使ったベンチづくりや間伐材を利用したオリジナル「竜水護森・木札（絵馬）」づくり、及び杉の「マイ箸づくり」など森の恵みを活かした新しい環境啓発の体験商品づくりを行う。
応募団体名	NPO 法人魅惑的倶楽部、ここほれワンワン塾、NPO 法人地域づくりサポートネット
リンク	http://www.exotic-club.jp/
部局／担当者名	副代表理事 山内 秀彦
連絡先	浜松市中区常盤町133-13（総合ビル2階）（053）455-0220 info@shizuoka-t.net
推薦市町村名	静岡県浜松市